

研究報告者募集

全国シニア大学院生 研究大会

人生 100 年時代を迎えて＜生涯学び続ける＞という
選択肢が充実した人生を送るキーワードとなりました。
東京経済大学では 2006 年にシニア大学院制度を導入し
昨年に「全国シニア大学院生研究大会」を開催しました。
シニア大学院生が研究成果を報告し、所属する大学院の
枠を超えて研究交流を行うことが、学び合いの共同体で
あるアカデミアの発展を意味しているからです。
研究成果を公表したいシニア大学院生を募集します。

全国シニア大学院生研究大会

開催日 2023 年 **11 月 18 日** 土

会 場 東京経済大学 国分寺キャンパス（東京都国分寺市南町 1-7-34）

報 告 者 募 集 要 項

報 告 資 格：大学院に在籍中のシニア大学院生（年齢の目安：50 歳代以上）

報 告 分 野：研究分野は問いません

報 告 時 間：30 分（報告 20 分、質疑応答 10 分）

開 催 形 式：対面開催（オンライン中継などは行いません）

募 集 人 数：8 名（予定）

選 考：報告分野のバランスなどを考慮のうえ実行委員会で選考を行い、報告者を決定します

申請必要事項：①氏名 ②よみがな ③所属大学院 ④生年 ⑤メールアドレス

⑥報告タイトル ⑦報告概要（200 字程度） ⑧関連業績（論文などあればご紹介ください）

申 請 方 法：上記必要事項を、メールにて kyomu@s.tku.ac.jp（東京経済大学研究課）までお送りください

申 請 締 切：2023 年 7 月 23 日（日）

選考結果通知：2023 年 8 月 4 日（金）までに、応募者全員へ通知いたします

交 通 費 補 助：遠隔地から来場の報告者については、交通費を一部補助します

問 い 合 わ せ 先：東京経済大学 研究課 E-mail kyomu@s.tku.ac.jp

東京経済大学

参加の呼びかけ

Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever. M. GANDHI

明日死ぬ!というつもりで今日を精一杯生きて、永遠に生きるぞ!というつもりでコツコツと学び続けよと、インド独立の父であるガンディーは言いました。私の好きな言葉です。

高齢社会、人生100年時代、学び直し、リスキリング、現代社会を特徴づける様々な言葉が飛び交っていますが、私たちの社会は歴史の大きな転換期を迎えています。東京経済大学はこの歴史的転換期に対応すべく2006年よりシニア大学院制度を導入しました。純粋な知的好奇心を満たすことでより豊かな人生を送るための選択肢となることが、現代社会における大学の使命のひとつとなっています。これまでに40名以上のシニア大学院生が修了し、現在も25名が研究を行っています。

しかし、研究というのは時に孤独なものになってしまいます。私の師匠は、「論文は孤独の中で書くとしても、研究は仲間と一緒にやるものである」といつも言っていました。同じく研究に従事しているシニア大学院生同士が交わることは、学びあいの共同体であるアカデミアに必要なことです。そこでコロナ禍も落ち着きはじめた2022年に、シニア大学院生の研究成果を発表して、所属の枠を超えて研究交流をはかる「全国シニア大学院生研究大会」を開催したところ、予想を上回る13名から発表の応募がありました。当日は一般来場者66名を含む約90名の参加があり、シニア大学院生同士の交流の場のニーズが高いということが分かりました。今年も全国のシニア大学院生への研究報告と研究会への参加の機会として研究大会を開催します。奮って研究報告への応募と、研究報告を聞くための参加をお待ちしております。

東京経済大学全国シニア大学院生研究大会
実行委員会委員長 佐藤 一光

当日のタイムテーブル(予定)

12:00 ~ 報告者打ち合わせ
12:30 ~ 一般来場者受付開始
13:00 ~ 13:05 開会挨拶
13:05 ~ 15:05 シニア大学院生研究報告
【30分(報告20分+質疑応答10分)×4名】
15:05 ~ 15:20 休憩

15:20 ~ 17:20 シニア大学院生研究報告
【30分(報告20分+質疑応答10分)×4名】
17:20 ~ 17:25 閉会挨拶

注 意 事 項

- ・ご提出いただいた氏名・所属大学院・報告タイトルは、一般聴講者募集用リーフレットおよび本学公式ウェブサイトでの募集告知に掲載させていただきます。
- ・大会終了後、報告集を作成します。報告者の方には報告集に掲載する報告概要をそれぞれご提出いただきます。

ア ク セ ス



主催：東京経済大学全国シニア大学院生研究大会実行委員会